

安全衛生の取り組み

2008年度活動テーマ

職場環境の継続的改善やメンタルヘルス対策の強化に取り組みます。また、災害等発生時に従業員を支援する仕組みづくりを拡充します。

2008年度の活動実績

1. メンタルヘルス対策に関する基礎知識と職場での対応方法を、年度昇格者向け職位別研修プログラムに盛り込み実施しました。
2. 中央安全衛生委員会、各地区安全衛生委員会の連携により安全衛生管理体制を強化するとともに、健康管理等、重点活動項目の徹底を図りました。
3. 災害発生時の事業継続体制、安否確認体制を強化し、新型インフルエンザについても対策を実施しました。

今後の課題

生活習慣病等に対する健康管理体制を強化するとともに、メンタルヘルス対策をさらに充実させ、心身両面における従業員の健康促進に努めていきます。

健康管理の充実

メンタルヘルス対策講義

近年、社会問題となっているメンタルヘルスの対策について、年度昇格者向け職位別研修プログラムに盛り込み実施しています。



メンタルヘルス対策講義の様子

メタボリックシンドローム対策

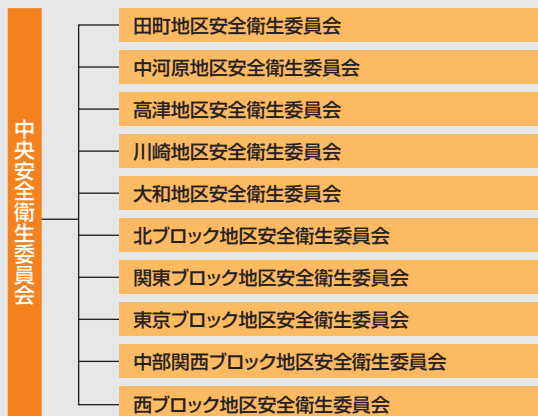
定期健診、生活習慣病健診の結果をもとに管理栄養士が、メタボリック注意者に対し、今後の対策等をセミナー、グループワーク、個別面談にて指導していただく取り組みです。日常の自己管理の重要性と具体的な食事改善方法等をメタボリック注意者に喚起し、個人に合わせた目標設定と定期フォローを行うことにより、従業員の健康管理に関する意識向上に一役買っています。

2008年度は、全社で計9回の講習会を開催し、57名が参加しています。

職場安全衛生体制の整備

安全な職場環境づくりのため、全社組織として「中央安全衛生委員会」を設置し、労働災害などのゼロ災害を目指した活動を推進するとともに、疾病の予防対策など、地区ごとに地域特性を考慮した安全衛生活動に日々取り組んでいます。

職場安全衛生体制



雇用

BCPへの取り組み

地震、災害などが発生した場合でも、事業継続が実現できる仕組みや体制づくり、いわゆるBCP*(Business Continuity Plan)の取り組みを推し進めています。

この一環として、万が一の事態が発生した際、従業員の安否状況を家族や会社が確認できる「安否確認システム」を導入したり、全国各地の事務所において災害時に使用できる食料・飲料水・医薬品・毛布



安否確認システム

等、備蓄品の配備を実施しています。

新型インフルエンザについても社内体制の整備、マスク等の備蓄品配備など対応を行っています。

*BCP(Business Continuity Plan)
…20ページ参照

災害、パンデミック発生時に備え、食料・飲料水・医薬品・毛布等の備蓄品を配備

